

基本目標2

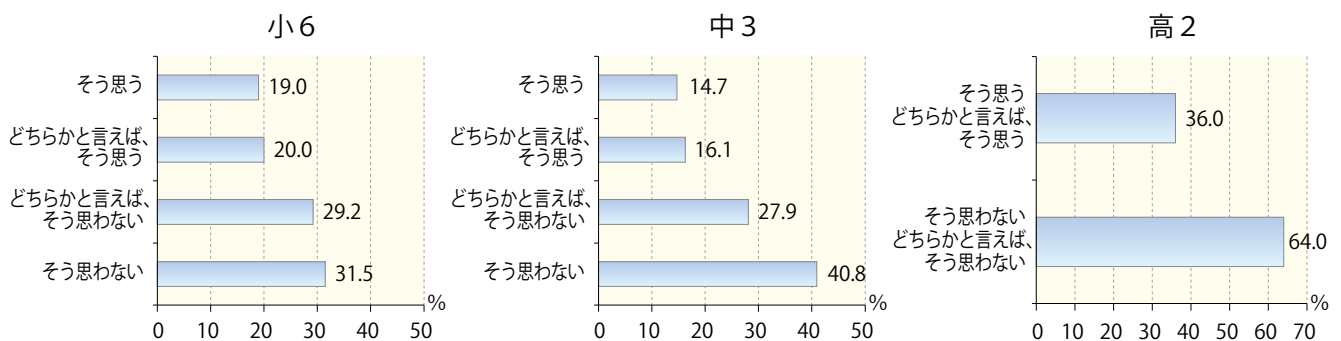
グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成

グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成

■ 現状と課題

- グローバル化や情報化の急速な進展など、変化の激しい時代を生きる子どもたちには、自ら世界に挑戦し、多様な価値観を持った人々と協働していくための基盤となる力を総合的に育成することが求められています。
- 留学や海外への進学実績から見て、本県の子どもの海外への挑戦意欲は低く、将来の留学等に前向きな子どもは、全体の3～4割にとどまっています。
- 多様性を受け入れ協働する力を育成する上で、国際交流活動をはじめ日本人とは異なる価値観を持った者と交流する機会等の充実が求められています。
- グローバル社会において多様な価値観を持つ者と意思疎通を図る上で、自己の価値観の基礎・背景にある郷土や日本への深い理解、論理的に考え伝える力、英語力（語学力）の育成が求められています。

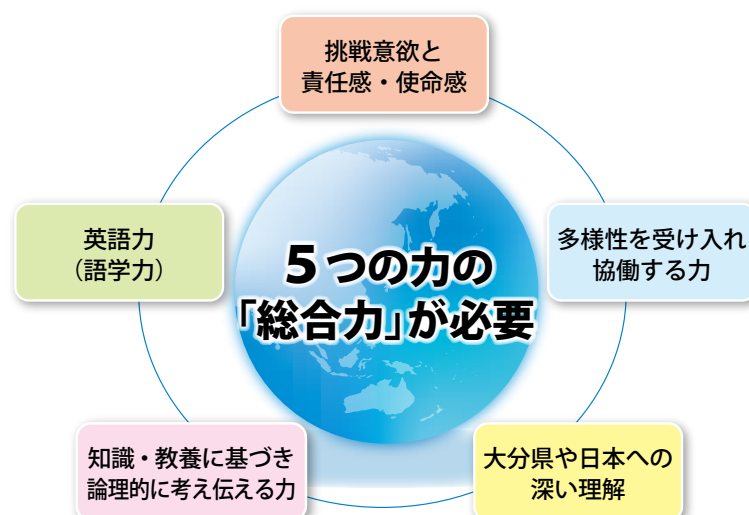
本県の子どもの海外への挑戦意欲



※「外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか」という問いに対する回答状況

【出典】全国学力・学習状況調査（文部科学省、H26）、学習習慣等実態調査（H26）

グローバル人材の資質・能力



学校教育 基本目標1-4
 社会教育 基本目標5
 文化財・伝統文化 基本目標6
 スポーツ 基本目標7-8

■ 主な取組

これからのグローバル社会を生きる子どもたちが、世界に挑戦し、多様な価値観を持った人々と協働しながら未来を切り拓いていく上で、①から⑤の力の総合力が必要であり、その素地を学校・家庭・地域の協働による取組を通じて培います。

① 挑戦意欲と責任感・使命感の育成

- 人材バンクの設置等を通じた、グローバルに活躍する人材に触れる機会の充実
- 留学フェアの開催や留学ガイドの作成、留学や海外大学進学に向けた相談窓口の設置等を通じた留学・海外進学に係る情報提供の充実
- 国費による留学支援の積極的な利用促進を含む、留学に係る経済的支援の充実
- 海外への挑戦意欲を喚起する、高校生対象のグローバルセミナーの開催

② 多様性を受け入れ協働する力の育成

- 小・中学生を対象としたイングリッシュ・キャンプの実施
- 外国語指導助手（ALT）の活用等による異文化理解の促進
- 県立学校での海外姉妹校協定の締結、県内留学生との交流促進など国際交流活動の推進
- スーパーグローバルハイスクール（SGH）をはじめ先進的な取組の普及
- 国際バカロレア^{※19}認定に向けた研究の推進



イングリッシュキャンプ

③ 大分県や日本への深い理解の促進

- 郷土の先人に関する教材の作成・活用等による郷土学習の充実
- 芸術教育や道徳教育など学校教育活動全体を通じた、郷土や国を愛する心の育成
- ふるさとの魅力継承のためのフォーラム等の開催
- 海外姉妹校との交流等を通じた、郷土や日本についてのプレゼンテーション機会の充実

※19 国際バカロレア……国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムのこと。生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、所定の成績を取めると国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）が与えられる。

④知識・教養に基づき、論理的に考え伝える力の育成

- 「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」の双方が育成される「付けたい力を意識した密度の濃い授業」の追求
 - 「新大分スタンダード」に基づく授業の徹底（小・中）
 - 授業等に自己決定の場・共感的人間関係を育む場・自己存在感を感じる場を設定した「学びに向かう学習集団」の形成
 - 問題解決的な展開の授業の推進
 - 習熟の程度に応じたきめ細かな指導の充実
 - 各教科等を通じた言語活動・体験活動の充実
 - 学校図書館・ICTの積極的な活用等による指導方法・指導体制の工夫改善
- 思考力・判断力・表現力等を重視した高校入試の質向上
- ユネスコスクールの認定に向けた研究の推進を含む、探究型学習の充実

⑤英語力（語学力）の育成

- 小・中・高等学校を通じた英語力向上を目指す「大分県英語教育改善推進プラン」（平成28年3月）に基づく英語教育の改善
- 4技能（「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」）の評価方法の確立と目標の設定
- 4技能を高める「大分県発英語授業モデル」の開発・普及など指導力の向上
- 系統的・体系的な英語指導を行うための校種間連携の推進

■ 目標指標

指標名	基準値	目標値		
		年度	H31年度	H36年度
グローバル人材として活躍するための素地を備えた生徒の割合（高2）	40%	H26	50%	60%
一定の期間、継続的に外国人と一緒に活動した経験がある生徒の割合（高3）	17.5%	H26	40%	50%